



広がっています 島根のふるまい



県内各地で「ふるまい向上」に関わる取り組みが広がっています。

『以前から大切にしてきた取り組みを充実させた。「ふるまい向上」をきっかけに連携が広がり、地域全体での取り組みになった。大切にしたいことを確認し直し、子どもたちに伝えていった。子育てについてみんなで一緒に考えた。』など、様々な取り組み事例を紹介します。

みんなであいさつ向上!

次世代を担う一人一人の子どもの幸せのために、社会全体、すべての年代であいさつ向上を向上させていきましょう。



ふるまい向上 Q & A



Q ふるまい向上に関係する活動にはすでに取り組んでいますが、何をすればよいですか？

A これまでのあいさつ運動、親切運動などの取り組みを、次の視点でもう一度見直すことが大切です。
○どんな子どもになってほしいのか。なぜその取り組みが必要なのか。
○これまでの取り組みに課題はないか、取り組み方法や指導の仕方、組織体制は有効なものか。
見直した結果をもとに、みんなで共通理解をもち取り組みましょう。

例「あいさつ運動」

- ・相手からどんなあいさつをされるとうれしいのか、子どもと一緒に考える。
- ・児童会、生徒会などを活用して、子どもたちの自主的な活動を促す。
- ・地区内の保、幼、小、中、高や保護者、地域の団体と連携して取り組む。

Q 保護者に対してどのように働きかけるとよいのでしょうか？

A 保護者の様々な子育ての悩みや不安を受け止め、それを解消するために次のような取り組みが考えられます。

- 例・保護者会など、保護者の自主的な活動が広がるように、地域・学校が連携する。
- ・子育てサロンのような気軽に子育ての悩みが話し合える機会を設ける。
- ・「親学プログラム」などを活用して保護者間のコミュニケーションを深める。

取り組み事例一覧

No	市町村名	取り組み団体	概要	ページ	分類
1	知夫村	知夫村公民館・知夫中学校	職場体験(学校)と通学合宿(公民館)を同時に行い、生徒が社会人の日常生活を体験する。	3	様々な連携
2	出雲市	鳶巣コミュニティセンター・鳶巣幼稚園	地域と保護者との関わりも深めながら、園児が茶道を通して日常生活に必要なふるまいを学ぶ。	3	
3	益田市	高津小学校区	PTAが子どもたちのあいさつの現状に問題意識をもち、地域とつながって、活動を展開する。	3	
4	奥出雲町	横田中学校区	中学校区の5校が連携して共通する目指す子ども像をもち、子どもたちの考えを取り入れた「横田しぐさ7ヶ条」の活動を推進する。	3	
5	松江市	松江二中	生徒会と警察署が協力して自転車マナーアップに取り組む。	3	
6	出雲市	多伎中学校区	子育てを地域全体で考える総合的な取り組みで、地域一斉あいさつ運動には、地元企業も参加する。	4	地域全体での取り組み
7	東出雲町	意東小学校区	地域の大人が、子どもたちへの日常の声かけなど大切にしたいことを明確にし、地域全体であいさつ運動に取り組む。	4	
8	出雲市	東コミュニティセンター地区	コミュニティセンターの呼び掛けで、地域全体で「ふるまい向上島根県 ¹⁷ 」を目指す。	4	
9	浜田市	周布公民館	公民館が中心となって、地域みんなで「ふるまい」を考える。	4	
10	浜田市	松原小学校	「親学プログラム」をPTA研修に取り入れ、保護者同士のつながりを深める。	5	保護者への働きかけ
11	松江市	みずうみ保育園	親子のふれあいを大切にし、親子行事のほかに、自由参加の「親子で遊ぼうの会」を企画する。	5	
12	奥出雲町	三沢幼稚園	朝夕2回の送り迎いのちょっとした時間に親子のふれあいを大切にする。	5	
13	益田市	吉田保育所	家庭での実践につながるように、体験と本物を重視して、親子両方に食育を推進する。	5	
14	吉賀町	かきのき保育所	一人ぼっちで悩む子育てがなくなるように、在宅の親子が寄りやすい保育所開放を進める。	5	
15	安来市	荒島小学校	授業参観の様子をもとに、PTAが自らふるまいを考える。	6	
16		島根県立青少年の家	楽しい親子活動の日に、「親学プログラム」を体験できる工夫をする。	6	
17	奥出雲町	八川公民館	身をもって覚える大切さも必要と考え、身につけてほしいふるまいを明確にした合宿通学を実施する。	6	活動の工夫
18	斐川町	西野幼稚園	楽しい遊びの感覚を大切にしながら、子どもたちは、いろいろなことを身につける。	6	
19	雲南市	飯石小学校	学校全体で、教師も子どももいっしょになって、標語や20ヶ条の作成等を通して、ふるまいについて考え、取り組む。	6	
20		島根県立宍道高等学校	あいさつ運動を通して、地域と共に高校生を育てる。	7	
21	松江市	松江一中校区	生徒会が自ら自分達の生活向上を目指して、考え動き出し、その取り組みが校区の小学校にも広がる。	7	
22	大田市	志学小学校	学校でのあいさつ運動を、家庭や地域へ広がった活動になるように展開する。	7	
23	出雲市	多伎幼稚園	望ましい生活習慣を楽しく身につける。	7	

分類は、一つの視点で分けたものです。それぞれの取り組みには他にもいろいろな要素が含まれています。

様々な連携



1

炊事・掃除・洗濯…そして仕事、将来のための社会人体験

～職場体験学習の期間は、合宿で共同生活：職場体験合宿～

【知夫村：知夫村公民館・知夫中学校】

中学2年生が職場体験学習を行う5日間、学校と連携し総合開発センターで合宿をしました。6泊7日の間、職場で働くだけでなく、炊事、掃除、洗濯などの家事を自分達で行います。教員も参加して毎晩職場体験の振り返りをする事で、体験学習を深めていきました。職場体験の苦勞が共有できたり、家事の大変さから家族への感謝の気持ちが生まれたり、あいさつの大切さに気付いたりできた貴重な体験でした。

2

日常の生活で「どうぞ」がさりげなく

～鳶巣の宝石箱「抹茶体験でふるまい向上」～

【出雲市：鳶巣コミュニティセンター・鳶巣幼稚園】

隣接する幼稚園の園児が、コミュニティセンターの和室で月1回抹茶をたしなむことで、きちんと座ること、あいさつすること、人の話を聞くことなど当たり前の礼儀作法を学びました。作法を習うことを通して、子どもなりに日常のしぐさを振り返ることができました。また、子どもを通して保護者にも大切なメッセージを送ることができました。地域と保護者がつながるきっかけにもなりました。



3

PTAが動き出し、地域と連携を深めるキーマンに！

～PTA発信のあいさつ運動「スマイル ひとマル ハートフル！」～

【益田市：高津小学校区】

PTAであいさつに関するアンケートを実施し、地区懇談会で地域へ呼びかけたことがきっかけで、地域全体の運動として取り組むことになりました。学校評議員の方が地域の方にたすきの作成を依頼するなど連携が深まっています。たすきの図案とあいさつ運動の名称を児童・保護者に募集し、たすきが作成されました。連携の広がりがあり、学校全体のあいさつに対する気運が高まっています。あいさつの歌もできました。

4

【横田しぐさ7ヶ条】・・・中学校区の5校が連携！

～さらに！3保育所、1幼稚園、3幼稚園も加わった「生活チャレンジシート」～

【奥出雲町：横田中、鳥上小、横田小、八川小、馬木小】

小中連携の「こころ生活部会」において、生徒指導上の重点項目を5校で相談し、7つの項目を共通に指導していくことに決定しました。7つの項目は、それぞれの子どもの手により標語となり、中学校では生徒手帳への掲載、小学校では日めくりポスターや校内への掲示を行い意識化を図っています。また、保育所・幼稚園・幼稚園といっしょに共通のチェック項目で、「生活チャレンジシート」の取り組みもしています。



- 横田しぐさ七ヶ条（八川小学校版）
- 一 あいさつ・へんじ（二年）
「目を見て、大きな声で
へんじ・あいさつをしよう」
 - 一 時間を守る（六年）
「自分のため みんなのため
これからはじまる授業のため
始まりの時間を守ろうよ」
 - 一 そうじ（五年）
「環境と、心をきれいに」
「こまめな掃除をしよう」
 - 一 くつ・スリッパそろえ（四年）
「つそろえ
つきのだれかも
気持ちいい」
 - 一 話しの聞き方（二年）
「目を見てと、話す人が
うれしいよ」
 - 一 感謝（ひまわり学級）
「ありがとう、友だちになる
第一歩」
 - 一 おもいやり（三年）
「友だちの
気持ちを考えて、行動しよう」

5



生徒会与警察署が協力！

～自分たちの自転車マナーアップに取り組む～

【松江市：第二中学校】

地域全体での取り組み

6

子どもたちが明日の地域をつくる！ みんな連携、地域で子育て！

～地域・保幼小中・家庭が一体となった取り組み～

【出雲市：多伎中学校区地域学校運営ブロック協議会】

地域・学校・家庭の三者協働で、めざす子ども像の共有化を図り、「0歳から15歳までの『キラリ子育てプログラム』」を作成し、乳幼児から中学生までの子どもを養育している全家庭に配付しています。大切なこととして「早寝・早起き・朝ごはん」をめあてとする「多伎っ子ウィーク」の実践にも取り組んでいます。今までの取り組みで成果があがってきているので、今年度からは「お手伝い」も新たなめあてとして加えました。

ブロック協議会が中心となり全町挙げて「地域一斉あいさつ運動」にも取り組んでいます。また地元企業も参加している取り組みです。子どもたちも地域のいろいろな場でボランティア活動に参加して、役割を果たしています。



スイムランの大会でボランティアをする子どもたち

9

地域みんなで子どもたちのふるまいを考える

～地域住民シンポジウム～

【浜田市：周布公民館】



7

地域みんなまるごと「ひろげよう明るいあいさつの輪」

～地域が盛り上げる小学校区全体で取り組むあいさつ運動～

【東出雲町：意東小学校・意東幼稚園・意東公民館】

学校・幼稚園・公民館・地域・家庭が連携したあいさつ運動です。学校関係だけでなく、公民館の働きかけで意東地区全戸へ標語とシンボルマークを募集し、のぼり旗を作成しました。毎月一定期間の一斉行動日を設け小学校区全域で運動に取り組んでいます。「おはよう」だけでなく、家庭・地域それぞれで大切にしたいあいさつを決め、日常的な声かけもこころがけています。



8

コミュニティセンターが核！、 ふるまい向上を地域全体に！

～コミュニティセンター発信「ふるまい向上島根県一を目指して」～

【出雲市：東コミュニティセンター地区、旭丘中学校、東小学校、東幼稚園】

- 地域・学校・幼稚園でふるまい向上標語の募集。
 - 「笑顔で元気良くあいさつ・はきものをそろえる」をセンターでの約束にし、「よその子を叱ろう、一人一人の得意なふるまいを教えていこう」と地域全体へ呼びかけ。
 - 幼稚園と連携して、「いのち」をテーマにした「陶芸教室」「園芸体験」の実施。
 - 小学校・中学校と連携して「一畑薬師石段清掃」の実施。
 - コミュニティセンター「子育てを楽しむ会」が中学生の保育体験授業に協力
- などのふるまい向上を軸とした取り組みが地域全体で進んでいます。



保護者への働きかけ



10 P T A 研修会は、子育てをいっしょに考える会！

～保護者に対する取り組み、[親学プログラム]の体験～

【浜田市：松原小学校】

学校では、児童と教職員がいっしょに企画したあいさつ運動や、トイレのスリッパそろえ、掃除などに力を入れて取り組んでいます。

さらに保護者への働きかけとして、公開授業後のP T A 研修会で、ふるまい向上を取り上げました。ふるまい向上についての講演会を企画し、親学プログラムの体験講座も続けて開催しました。保護者自身の「ふるまい」を見つめ直したり、自分の子育てを振り返り悩みを共有したりして、保護者同士のつながりを深めるよい機会になりました。

11 親子、親同士、親子と保育者…いっしょに子育て育ちあいを大切に！

～親子で遊ぼうの会～

【松江市：みずうみ保育園】

土曜日の午前中に自由参加での「親子で遊ぼうの会」の取り組みを始めました。「製作遊び」、「絵の具遊び」、「親子クッキング」等、全体の親子行事のない月を中心に、今年度は5回実施しました。次回を心待ちにする声も多く、小学生の兄弟も含め、子ども同士、親同士の関わりも広がり、いっしょに子育ての一步になっています。

また夕方の時間を利用した「子育ておしゃべり会」もお互いに親しくなり、ほっとして元気になれるよい場になっています。



12 親と子の心の糸を紡ぐ「はいタッチ！」

～おかあさん、はいタッチ！「楽しく遊んでね。お母さんもお仕事がんばるよ。」～

【奥出雲町：三沢幼稚園】

朝の玄関、お母さんとしばしのお別れの瞬間です。お母さんの笑顔と手から伝わるぬくもりは、子どもに安心感を与え、「ひとりでも大丈夫！」と家族と離れ、集団生活に入っていけるエネルギーに火をつけます。朝の何気ない行動ですが、目には見えない信頼の絆から1日がスタートするのです。そしてお迎えでも「はいタッチ！」。出会えた喜びを子どもは笑顔で語ります。三沢幼稚園の親と子の心を紡ぐ風景。幼児期の心に育てたい「愛の原点」です。



13 親子で楽しくおいしく！実践につながる食育を

～楽しく作って、おいしく食べて、よりよい生活習慣を身につけよう～ 【益田市：吉田保育所】

ごはんのおいしさを知り、ご飯を食べる子に育つよう「稲作体験」を行い、さらに「新米をかまどで炊いておにぎりを作って食べる親子遠足」をしました。旬の野菜を入れた豚汁、炭火で焼く秋刀魚というメニューを親子で作っていっしょに食べました。普段はあまり食べない子どももおいしそうにたくさん食べました。また、「おいしい懇談会」と題して、話を聞くだけでなく「ひじき」をテーマに実際に8種類のメニューを紹介する懇談会も実施しました。さまざまな取り組みを続けたことで、家庭での実践にもつながっています。



14 いつでもおいで！保育所開放「ぼけっと」

～いつでもOK、給食も食べることができる未就園児への保育所開放～ 【吉賀町：かきのき保育所】

過疎地にあるため、転動してこられた方などが孤立しないように、気軽に来ることができる保育所開放を進めています。「保育所開放日ならばどの時間でもおいで！来たとき申し込みば給食も食べることができるよ！第2水曜日は保健師さんもいるよ！」と呼びかけています。気軽に来て、子どもを遊ばせ、親同士がおしゃべりし、仲良くなる、そんな楽しいことがいっぱい「ぼけっと」です。(利用する保護者さんが命名しました。)

15

子どもは、自分を見に来てくれていると張り切っています。

そんな子どもに

「おしゃべりをしている姿」

「ガムをかんでいる姿」

「メールをしている姿」を見せますか？

それとも、

「優しい眼差しを注ぎ凛とした姿」を見せますか？

PTAが自らふるまいを考える

～PTA役員の発案による、授業公開日の校内掲示～

【安来市：荒島小学校】

16



楽しい親子活動の日を利用して、親学講座

～サン・レイク「にこここファミリーデー」～

【島根県立青少年の家 サン・レイク】

活動の工夫

17

実は、炊事・掃除・もらい湯が、大切な勉強の場！

～自立を促す生活体験を重視した合宿通学～

【奥出雲町：八川公民館・八川小学校】

平成22年度八川小学校合宿通学もらい風呂(湯)について合宿通学中の3晩の入浴は、公民館の近所の家庭のお風呂へ行きますので、行った時、お風呂中、帰るときはきちんとあいさつし、自分の気持ちを家の方に伝えましょう。

次のようなあいさつをしましょう。

1. 家に行ったとき

「こんばんは、八川小学校の合宿通学のものですが、お風呂に入らせてもらいに来ました。」「今日から明日、明後日の3晩お世話になりますが、よろしく願っています。」

【自己紹介】家にあがってから、

「私は八川小学校〇年生の〇〇〇〇と申します。家は〇〇〇(集落名)です。よろしく願っています。」

2. お風呂に入るとき

「ありがとうございます。(略)」

3. お風呂から上がったとき

……(略)……

八川小学校4年生から6年生の希望者23名を対象に「ふるまい向上」に視点を置いた合宿通学(3泊4日)を実施しました。仲間や大人と寝食を共にしたり、炊事・掃除をしたりすることで、日常生活でいかにお世話になっているかがわかりました。また、毎晩のもらい湯では、初対面の方との会話の中から、あいさつの必要性や話し方などのコミュニケーションの大切さを感じ、感謝の気持ちも育ちました。新たな交流も生まれ、地域ぐるみでの子育ての雰囲気も芽生えました。



閉校式

「ありがとうございました。」

18

廊下もびかびか、心もびかびか…心身ともに豊かでたくましく！

～「びかびかタイム」のぞうきんがけ～

【斐川町：西野幼稚園】

《お帰りの「びかびかタイム」は、みんなが頑張る時間。遊んだ場所は、みんなできれいにしたい。ぞうきんを洗うことだって、固く絞ることだってできるんだ。力を入れて拭いた後は、お部屋も廊下もピッカピカで気持ちいい。息はハアハア、手足はガクガク。心も体もなんだか元気になったみたい。》……子どもたちは楽しみながら「びかびかタイム」に取り組んでいます。心身ともに豊かでたくましい幼稚園児となることを願っています。



19

全校挙げて、どっぷり「ふるまい」！

～みんなでふるまい標語づくり、そしてふるまい向上20ヶ条～

【雲南市：飯石小学校】

ふるまい向上県民運動の標語の募集にあわせて、全校児童、全教職員で標語づくりに取り組みました。その後は、みんなの標語を「本日のふるまい標語」として個別掲示し、意識化を図っています。

また児童の意見を取り入れながら「飯石小学校 ふるまい向上20ヶ条」を作成しました。普段の学校生活において、児童の言動の中に「ふるまい」を意識したものが増えてきました。地域へも取組の様子を発信し、児童と地域の方々があふれあう場では、児童の「ふるまい」を見ていただくよう、機会をとらえてお願いもしています。





20 高校生にもあいさつを！地域へも協力を求めて

～小中学生だけでなく、高校生も地域の一員として～

【県立宍道高等学校】

多くの生徒が利用する宍道駅でのあいさつ運動を続けています。ほぼ毎日教員が駅に立ち生徒を迎え、あいさつをしています。

また、学校教育への理解と協力を求めるために立ち上げた地域連絡協議会の場で、あいさつに力を入れていることを伝え、地域にも理解と協力を求めました。本校の生徒に声がけをしてくださる地域の方も増えています。

21 中学生が自ら動いた「こころ♡ほっと運動」

～生徒会発信「こころ♡ほっと運動」が小中連携で小学校にも～

【松江市：松江一中、内中原小、城北小、生馬小、法吉小】

「こころ♡ほっと運動」は、みんなが気持ちよく学校生活を送るためにはどんなことを心がけていくといいのかを各自が考えて行動しよう、という運動です。松江一中生徒会が自主的な活動を進める中、この運動を校区の4つの小学校にも呼びかけることになりました。「児童会・生徒会交流」の場で呼びかけられると、各小学校でもそれぞれアイデアを活かした取り組みが展開されました。「あいさつの声が大きくなった」「次の人のことを考えてトイレのスリッパがそろうようになってきた」などの報告もありました。



22 学校でできた！じゃあ、家庭へ、地域へ、広げよう！

～どうすれば、日本一のあいさつができるようになるのか～

【大田市：志学小学校】



相手がうれしくなるあいさつができる「あいさつ名人」になろうと全校へ呼びかけ、「あいさつ名人カード」を利用して取り組みが始まりました。取り組みが進んで、カードは学校編から家庭・地域編へと変わっていきました。また、今はまだできないが、「日本一のあいさつの種」をまけばきっと花が咲き実を結ぶという考えで、家庭でも意識を高めてもらうため、「日本一のあいさつの種」についての家族会議の開催を呼び掛け、各家庭からも取り組みについての意見をもらいました。地域の方が作曲したオリジナルあいさつの歌も作成し、毎朝登校時に流しています。

23



望ましい生活習慣を楽しく身につける！

～登園後、保護者もいっしょにダスマン体操！（排便の意識づけ）～

【出雲市：多伎幼稚園】

このリーフレットでは、保育所、幼稚園、学校、地域が取り組んだ様々な活動を紹介しました。どの活動もそれぞれの特色を生かした取り組みとなっています。ここで紹介した事例は必ずしも今回のふるまい向上のための取り組みとして行われているものばかりではありません。むしろ、それぞれのところが日頃から取り組んでいることを取り上げています。

こうした事例を参考に、自分達にできることは何か考え、少しずつでも取り組みを広げていくことが、本県のふるまい向上を推進していくことにつながります。

【問い合わせ】 島根県教育庁義務教育課 TEL 0852-22-6165

